



日 時：2010年2月24日(水) 13:30～17:00 (13:00開場)
会 場：青山ダイヤモンドホール1F ダイヤモンドルーム
対 象：経理・財務部門責任者、経営企画部門責任者等
定 員：200名(定員になり次第、締切らせていただきます)
参加費：一般 5,000円/日本CFO協会個人・法人会員 3,000円
主 催：日本CFO協会/富士通株式会社

戦略経営管理セミナー

グローバル展開を支える次世代の経営管理を考える

2010年に入り企業の規模を問わず新たな成長戦略を海外、特にアジア新興市場に求める動きが加速しています。こうした本格的な国際競争を勝ち残るためには、経営意思決定を支援するための正確且つ迅速な経営企画機能と、企業の業務プロセスを最適化し企業経営をインフラ面で支える強靱な経理・財務機能が欠かせません。今回のFASSアカデミーでは、本来果たすべき経理・財務の機能の原点に帰り、経営の意思決定を支援するためのマネジメント体制のあるべき姿を考えます。

P R O G R A M

13:30～14:30

Keynote

不確実な時代こそ “1円”の利益をあげる経営会計の実践を

金見 昭 氏

経済・金融・経営評論家/前金融監督庁(現金融庁)顧問/日本CFO協会最高顧問

企業会計分野では、今IFRS(国際財務報告基準)をはじめ財務会計の話題一色です。法規遵守のための財務会計が重要であることには間違いありませんが、やはり経営で一番重要なのは“1円”の利益をあげるために必要な「経営会計」で、特に世界的に不況が続く厳しい時代こそ、財務会計よりも経営会計の機能を十分果たすような経理・財務部門となっているか、自問自答することが大切です。私がかつて体験した信越化学での経営、経理・財務および国際的M&Aの事例を含め、経営会計とは何か、あらためてお話ししたいと思います。



14:45～15:45

Professional

経営意思決定を支援するPDCAサイクルの実現と 体制作りのポイント

森本親治 氏

新日本有限責任監査法人 アドバイザリーサービス部 シニアパートナー/公認会計士/
日本CFO協会主任研究委員

次世代の成長戦略立案に向けた迅速な経営情報の提供と、戦略立案のためのモデリング機能の強化が今経理・財務に求められています。しかし現実には、グローバル化に伴い生産拠点・販売拠点の広がりや、様々な製品ラインナップの管理など、経営管理モデルは複雑化する一方だという悩みを抱える企業が多くあります。経理・財務が果たすべき経営会計の実践のためにはどのような体制づくりが必要なのか具体的に考えてみたいと思います。



16:00～17:00

Case Study

経営の見える化の実証 ～経営者から見た情報とその活用～

花岡和彦 氏

株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ 代表取締役社長

決算の早期確定や内部統制など経営を取り巻く環境が急激に変化する中、変化への即応、競争力確保が急務となっています。これまで、部門最適に構築されてきたシステムを、情報の見える化と一元化により、経営を支えるシステムに変革させていくことが必要です。本講演では、当社の既存システムに手を加えることなく、短期間で経営と一体化したシステムに変身した実例をご紹介します。本取組みから、社長自ら損益などマクロな集計情報と明細レベルのミクロな情報を正確に把握し、現場感覚に立った改革を実現しています。



主催

日本CFO協会

FUJITSU

●注意事項 ●テープレコーダーなどの記録機器の持ち込みはご遠慮ください。●テキスト、資料等は当日会場でお渡し致します。参加者以外の方にはお頒け致しません。●参加される方のご都合の悪い場合は、代理の方のご出席をご考慮願います。

●申込締切:2月19日(金) ※お申込後、2月19日までにキャンセルのご連絡がない場合、ご請求させていただきますのでご注意ください。

●参加申し込み方法 **オンライン申し込みにてお手続きください** <http://www.cfo.jp/fassacademy/>

●お問合せ先: FASSアカデミー事務局(日本CFO協会 事務局内) TEL:03-3556-2334 MAIL:seminar@cfo.jp HP:www.cfo.jp

●※本プログラムの内容については予告なしに変更される場合がありますことを、予めご了承ください。